

# 大学等進学率の上昇続く

～ 平成23年度学校基本調査速報結果 ～

平成23年度学校基本調査の速報結果が文部科学省から8月に公表されましたので、今号では福岡市の概況を紹介します。

## 1. 学校基本調査の概要

学校基本調査は、学校教育法に規定する学校(脚注)と市町村教育委員会を対象に、学校に関する基本的事項(学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等)を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に、昭和23年度から毎年5月1日現在で実施されています。

速報結果では、政令指定都市の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学及び短期大学に関する数値が公表されました。

## 2. 初等中等教育機関の概要

### (1) 幼稚園の概況

#### 園児数が4年振りに増加

幼稚園は128園で前年度(平成22年度)と同数ですが、園児数は764人増加の20,377人で、4年振りに増加に転じました。年齢別に見ると、3歳児が552人、4歳児が332人増加し、5歳児が120人減少しています。

教員数は1,327人で27人増加し、教員1人当たり園児数は15.4人となっています。(表1)

### (2) 小学校の概況

教員1人当たりの児童数20人を切る小学校も前年度と同数の150校です。

表1 幼稚園の概況

区分	園数	園児数						教員数(本務者)			教員1人当たり園児数
		計	男	女	3歳	4歳	5歳	計	男	女	
平成19年度	129	20 161	10 306	9 855	5 427	7 211	7 523	1 292	88	1 204	15.6
20年度	128	20 059	10 245	9 814	5 519	7 248	7 292	1 293	103	1 190	15.5
21年度	128	19 669	10 011	9 658	5 331	7 013	7 325	1 305	102	1 203	15.1
22年度	128	19 613	9 909	9 704	5 754	6 799	7 060	1 300	94	1 206	15.1
平成23年度	128	20 377	10 338	10 039	6 306	7 131	6 940	1 327	102	1 225	15.4

表2 小学校の概況

区分	学校数	学級数	児童数										教員数(本務者)			教員1人当たり児童数
			計						年				計			
			計	男	女	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	男	女		
平成19年度	150	2 561	76 638	39 136	37 502	12 859	12 756	12 901	12 813	12 648	12 661	3 620	1 325	2 295	21.2	
20年度	150	2 590	77 215	39 335	37 880	13 168	12 858	12 717	12 951	12 831	12 690	3 657	1 358	2 299	21.1	
21年度	150	2 617	77 398	39 476	37 922	12 822	13 168	12 848	12 725	12 994	12 841	3 698	1 375	2 323	20.9	
22年度	150	2 682	77 567	39 569	37 998	12 833	12 883	13 194	12 856	12 788	13 013	3 823	1 397	2 426	20.3	
平成23年度	150	2 700	77 517	39 553	37 964	12 666	12 884	12 933	13 281	12 909	12 844	3 912	1 431	2 481	19.8	
東区	29	562	16 303	8 354	7 949	2 709	2 780	2 743	2 798	2 645	2 628	811	...	...	20.1	
博多区	19	303	8 377	4 401	3 976	1 416	1 350	1 445	1 411	1 354	1 401	462	...	...	18.1	
中央区	16	269	7 613	3 602	4 011	1 221	1 236	1 264	1 289	1 287	1 316	402	...	...	18.9	
南区	26	469	13 759	7 093	6 666	2 266	2 175	2 291	2 388	2 357	2 282	664	...	...	20.7	
城南区	11	222	6 387	3 287	3 100	985	1 098	1 025	1 150	1 046	1 083	310	...	...	20.6	
早良区	26	452	13 096	6 656	6 440	2 116	2 227	2 176	2 224	2 178	2 175	649	...	...	20.2	
西区	23	423	11 982	6 160	5 822	1 953	2 018	1 989	2 021	2 042	1 959	614	...	...	19.5	

注) 学校教育法に規定する学校とは、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校をいう。

児童数は77,517人で前年度に比べ50人減少し、10年振りの減少となりました。

教員数は3,912人で前年度に比べ89人増加し、13年度以降11年連続で増加を続けており、教員1人当たりの児童数は19.8人で、13年連続で減少しています。

行政区別では、児童数は東区が16,303人で最も多く、城南区が6,387人と最も少なくなっていますが、平成23年5月1日現在の推計人口(以下「推計人口」といいます。)に占める割合では、早良区及び西区が6.2%で最も高く、博多区が3.9%で最も低くなっています。(表2, 4)

### (3) 中学校の概況

生徒数、教員数ともに増加

中学校も前年度同数の83校です。

生徒数は39,393人で前年度に比べ296人増加しました。

教員数は2,383人で、前年度に比べ47人増加しており、教員1人当たりの生徒数は16.5人となっています。

行政区別の生徒数では、東区の7,870人が最も多く、城南区の2,996人が最も少なくなっています。また、推計人口に占める割合では、早良区が3.2%で最も高く、次いで中央区、南

区、西区が2.9%となっており、博多区が1.7%で最も低くなっています。

(表3, 4)

### (4) 高等学校の概況

公立校生徒数が45%台を維持

高等学校数は41校で9年度以降同数です。生徒数は42,838人で前年度から56人増加しました。

教員数は2,444人で前年度と比べ1人減少しています。

設置者別に生徒数を見ると、13年度以降緩やかに上昇を続けていた公立校生の割合が、前年度から0.2ポイント減少の45.4%となりました。11年振りの減少ですが、21年度以降45%台を保っています。

(表5, 図1)

表4 小・中学校の対人口比

区分	推計人口 (H23.5.1 現在)	(人, %)	
		小学生が人口に占める割合	中学生が人口に占める割合
福岡市	1 473 192	5.3	2.7
東区	294 182	5.5	2.7
博多区	214 693	3.9	1.7
中央区	180 622	4.2	2.9
南区	247 702	5.6	2.9
城南区	128 961	5.0	2.3
早良区	212 643	6.2	3.2
西区	194 389	6.2	2.9

表3 中学校の概況

区分	学校数	学級数	生徒数						教員数(本務者)			教員1人当たり生徒数
			計	男	女	1年	2年	3年	計	男	女	
平成19年度	83 (15)	1 137	38 787	19 358	19 429	13 241	12 663	12 883	2 273	1 320	953	17.1
20年度	83 (14)	1 150	38 924	19 415	19 509	13 025	13 245	12 654	2 288	1 320	968	17.0
21年度	83 (14)	1 190	39 229	19 692	19 537	12 945	13 007	13 277	2 299	1 320	979	17.1
22年度	83 (14)	1 188	39 097	19 602	19 495	13 100	12 967	13 030	2 336	1 349	987	16.7
平成23年度	83 (14)	1 202	39 393	19 768	19 625	13 272	13 130	12 991	2 383	1 363	1 020	16.5
東区	16 (1)	245	7 870	3 923	3 947	2 648	2 598	2 624	478	...	...	16.5
博多区	11 (2)	118	3 749	2 049	1 700	1 227	1 286	1 236	260	...	...	14.4
中央区	10 (5)	151	5 189	2 363	2 826	1 791	1 681	1 717	293	...	...	17.7
南区	15 (2)	220	7 153	3 563	3 590	2 410	2 343	2 400	423	...	...	16.9
城南区	6 (1)	91	2 996	1 500	1 496	992	982	1 022	177	...	...	16.9
早良区	11 (1)	200	6 887	3 502	3 385	2 329	2 353	2 205	384	...	...	17.9
西区	14 (2)	177	5 549	2 868	2 681	1 875	1 887	1 787	368	...	...	15.1

注) 学校数の( )内は国立または私立の学校数で内数

### 3. 中学校及び高校卒業者の進路

#### 大学等進学率7年連続上昇

中学校卒業者は13,028人で、前年度と比べ236人減少しており、その進路を見ると97.2%にあたる12,663人が高等学校等へ進学しています。

高等学校の卒業者は13,548人で前年度と比べ10人減少しており、うち大学等進学者が8,231人で昨年より12人増加しました。大学進学者の割合は60.8%で、平成17年度以降一貫して上昇しています。また、就職者については、一時的な仕事に就いた者（臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者（アルバイト、パート等））を含めると1,596人で卒業者に占める割合は11.8%となっています。（表6,7）

### 4. 大学及び短期大学の概況

#### 大学院生の増加が続く

大学は12校で、前年度に比べ私立大学が1校増加しました。

大学院生を含む学生数は72,877人で前年度に比べ160人増加しています。男女別で見ると、男性は44,992人で299人減少し、女性は27,885人で459人増加しています。構成比は男性が61.7%、女性が38.3%となり、女性の占める割合は緩やかに上昇を続けています。

大学院生は8,235人で、前年度に比べ103人増加しており、15年度以降増

図1 高校生徒数と公立校生の割合

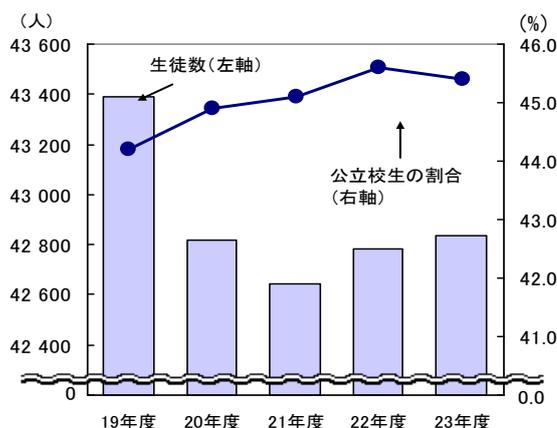


表5 高等学校の概況

区分	学校数				生徒数				教員数(本務者)		
	計	全日制	定時制	併置	計	本科		専攻科	計	全日制	定時制
						全日制	定時制				
平成19年度	41	39	1	1	43,391	42,045	1,170	176	2,392	2,303	89
20年度	41	39	1	1	42,819	41,486	1,152	181	2,407	2,319	88
21年度	41	39	1	1	42,644	41,312	1,160	172	2,407	2,322	85
22年度	41	39	1	1	42,782	41,464	1,164	154	2,445	2,357	88
平成23年度	41	39	1	1	42,838	41,537	1,176	125	2,444	2,354	90
公立	19	17	1	1	19,466	18,290	1,176	—	1,274	1,184	90
私立	22	22	—	—	23,372	23,247	—	125	1,170	1,170	—

注) 専攻科…高等学校を卒業した者等に対し、特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的として設置された科。例：看護科、介護福祉科等

表6 中学校卒業後の進路

区分	総数	高等学校等進学者	専修学校高等課程進学者	専修学校一般課程等入学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者	その他の者	就職進学者、就職入学者(再掲)
		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
平成19年3月卒	12,931	12,472 (96.5)	140 (1.1)	35 (0.3)	10 (0.1)	79 (0.6)	195 (1.5)	1 (0.0)
20年3月卒	12,885	12,390 (96.2)	140 (1.1)	50 (0.4)	11 (0.1)	69 (0.5)	229 (1.8)	4 (0.0)
21年3月卒	12,666	12,258 (96.8)	95 (0.8)	32 (0.3)	6 (0.0)	77 (0.6)	205 (1.6)	7 (0.1)
22年3月卒	13,264	12,855 (96.9)	126 (0.9)	29 (0.2)	12 (0.1)	36 (0.3)	212 (1.6)	6 (0.0)
平成23年3月卒	13,028	12,663 (97.2)	108 (0.8)	49 (0.4)	8 (0.1)	44 (0.3)	158 (1.2)	2 (0.0)

注1) 福岡県公表値。総数は「高等学校等進学者」～「その他の者」の合計から重複する「就職進学者、就職入学者」を差し引いた数。「就職進学者、就職入学者」は「高等学校等進学者」～「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者。

2) 構成比は「総数」に対する割合で重複する「就職進学者、就職入学者」を含むため合計が100%を超える。

加を続けています。

設置者別で学生数を見ると、国公立の学生は19,743人で前年度に比べ97人増加し、17年度以降増加を続けています。私立の学生は53,134人で、前年度に比べ63人増加し、2年連続の増加となりました。

短期大学は前年度同数の9校です。学生数は4,848人で前年度より18人減少しています。男女別で見ると、男性は576人で48人増加し、女性は4,272人で66人減少しています。(表8.9)

## 5. 大学及び短期大学入学者の出身地 県内入学者の約8割が九州・沖縄地方 出身者

福岡県内の大学及び短期大学への入学者を都道府県別出身高校所在地で見ると、入学者30,129人のうち福岡県内の高校からの入学者は17,142人(構成比56.9%)となっています。県外からの入学者を見ると、最も多いのは福岡県以外の九州・沖縄地方からの8,499人(同28.2%)で、次いで中国地方からの1,941人(同6.4%)です。それ以外の地方からの入学者は2,547人(同8.5%)となっています。

表7 高等学校卒業後の進路

区分	総数	(人, %)								
		大学等進学者	専修学校 専門課程 進学者	専修学校 一般課程 等入学者	公共職業能 力開発施設 等入学者	就職者	一時的な 仕事に就 いた者	その他の者	就職進学者, 就職入学者 (再掲)	
		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
平成19年3月卒	14 340	8 184 (57.1)	1 694 (11.8)	1 583 (11.0)	41 (0.3)	1 637 (11.4)	287 (2.0)	913 (6.4)	4 (0.0)	
20年3月卒	13 979	8 066 (57.7)	1 617 (11.6)	1 785 (12.8)	40 (0.3)	1 613 (11.5)	159 (1.1)	702 (5.0)	3 (0.0)	
21年3月卒	13 380	7 874 (58.8)	1 577 (11.8)	1 459 (10.9)	32 (0.2)	1 475 (11.0)	256 (1.9)	711 (5.3)	4 (0.0)	
22年3月卒	13 558	8 219 (60.6)	1 554 (11.5)	1 450 (10.7)	33 (0.2)	1 328 (9.8)	198 (1.5)	779 (5.7)	3 (0.0)	
平成23年3月卒	13 548	8 231 (60.8)	1 618 (11.9)	1 460 (10.8)	31 (0.2)	1 368 (10.1)	228 (1.7)	615 (4.5)	3 (0.0)	

注1) 福岡県公表値。総数は「大学等進学者」～「その他の者」の合計から重複する「就職進学者、就職入学者」を差し引いた数。

「就職進学者、就職入学者」は「高等学校進学者」～「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者。

2) 構成比は「総数」に対する割合で重複する「就職進学者、就職入学者」を含むため合計が100%を超える。

表8 大学の概況

区分	大 学 数				学 生 数						(校, 人)		
	計	国立	公立	私立	計	男		女		国立	公立	私立	教員数 (本務者)
						計	男	女					
平成19年度	11	1	1	9	72 439 (7 877)	46 154 (5 503)	26 285 (2 374)	18 403	887	53 149	4 988		
20年度	11	1	1	9	71 957 (7 903)	45 605 (5 556)	26 352 (2 347)	18 459	872	52 626	4 926		
21年度	11	1	1	9	71 971 (7 987)	45 077 (5 615)	26 894 (2 372)	18 624	872	52 475	4 924		
22年度	11	1	1	9	72 717 (8 132)	45 291 (5 712)	27 426 (2 420)	18 791	855	53 071	4 936		
平成23年度	12	1	1	10	72 877 (8 235)	44 992 (5 732)	27 885 (2 503)	18 828	915	53 134	5 149		

注1) 「学校数」及び「教員数(本務者)」については、大学本部の所在地による。

2) 「学生数」については、在籍する学部・研究科等の所在地による。

なお、大学学生数には学部のほか大学院、専攻科及び別科の学生並びに聴講生等を含む。

3) ( )内は大学院生数で内数。

表9 短期大学の概況

区分	短期大学数			学 生 数					(校, 人)		
	計	国立	私立	計	男		女		国立	私立	教員数 (本務者)
					計	男	女				
平成19年度	9	—	9	5 088	499	4 589	—	5 088	340		
20年度	9	—	9	4 804	449	4 355	—	4 804	306		
21年度	8	—	8	4 680	453	4 227	—	4 680	265		
22年度	9	—	9	4 866	528	4 338	—	4 866	280		
平成23年度	9	—	9	4 848	576	4 272	—	4 848	273		

注1) 「学校数」及び「教員数(本務者)」については、短期大学本部の所在地による。

2) 「学生数」については、在籍する学科等の所在地による。

なお、学生数には本科学士のほか専攻科及び別科の学生並びに聴講生等を含む。

一方、福岡県内の高校から福岡県以外の大学及び短期大学への入学者は、8,539人（構成比33.3%）となっています。入学先で最も多いのは福岡県以外の九州・沖縄地方の2,903人（同11.3%）、次いで関東地方が2,483人（同9.7%）、以下、近畿地方が1,544人（同6.0%）、中国地方が1,154人（同4.5%）と続いています。

流入・流出状況は4,448人の流入超過となっていますが、地方別にみると福岡県以外の九州・沖縄地方が5,596人の流入超過となっている一方で、関東地方は2,297人の流出超過となっています。（表10、図2）

## 6. 大都市の大学及び短期大学 学生の割合は大都市中、第3位

20大都市の大学及び短期大学の概況を比較すると、福岡市の学校数は、東京都区部、京都市、神戸市、名古屋

図2 地方別流入超過数

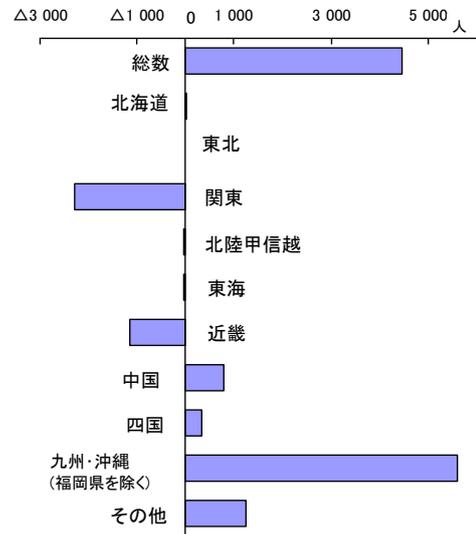


表10 大学及び短期大学入学者の出身高校所在地

区分	福岡県内の大学・短期大学への入学者		福岡県内高校出身者の入学者		流入超過数
	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	
総数	30,129	(100.0)	25,681	(100.0)	4,448
北海道地方 (北海道)	100	(0.3)	72	(0.3)	28
東北地方 (青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島)	18	(0.1)	29	(0.1)	△11
関東地方 (茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川)	186	(0.6)	2,483	(9.7)	△2,297
北陸甲信越地方 (新潟, 富山, 石川, 福井, 山梨, 長野)	58	(0.2)	86	(0.3)	△28
東海地方 (岐阜, 静岡, 愛知, 三重)	117	(0.4)	168	(0.7)	△51
近畿地方 (滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山)	383	(1.3)	1,544	(6.0)	△1,161
中国地方 (鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口)	1,941	(6.4)	1,154	(4.5)	787
四国地方 (徳島, 香川, 愛媛, 高知)	432	(1.4)	100	(0.4)	332
九州・沖縄地方 (福岡県以外) (佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄)	8,499	(28.2)	2,903	(11.3)	5,596
その他	1,253	(4.2)	—	—	1,253
福岡県内進学	17,142	(56.9)	17,142	(66.7)	—

注1) 入学者数には、5月1日現在在籍しない者は含まない。

注2) 短期大学の所在地は、入学した学科の所在地による。

注3) 「その他」とは、「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」、「専修学校高等課程を修了した者」及び「高等学校卒業程度認定試験規程（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者」等である。（学校教育法施行規則第150条）

市に次いで5番目（札幌市と同数）に多く、学生数は、東京都区部、京都市、名古屋市、横浜市に次いで5番目に多い都市になっています。

各都市の推計人口に占める学生数の割合を見ると、京都市が9.4%で最も高く、次いで東京都区部が5.7%、福岡市は5.3%で前年度と同じく第3位となっています。以下、仙台市の4.8%、

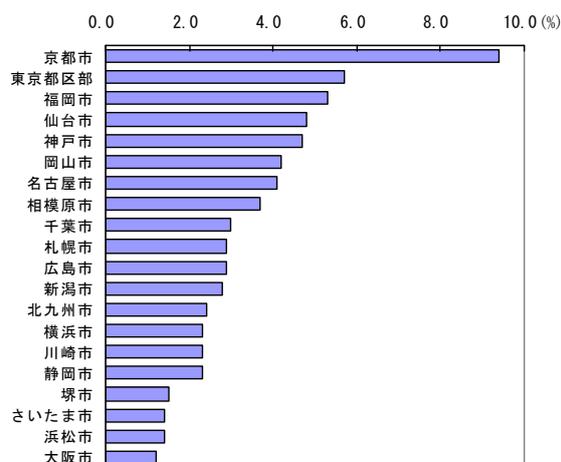
神戸市の4.7%と続きますが、福岡市は「学生の多い都市」と言えることが分かります。

（表11、図3）



学校基本調査の公表結果は、下記のホームページでご覧いただけます。なお、12月頃に文部科学省から確報が公表される予定です。

図3 大都市の人口に占める学生の割合



□文部科学省

<http://www.mext.go.jp/>  
から統計情報を選択

□福岡県調査統計課（ふくおかデータウェブ）

<http://www.toukei.pref.fukuoka.lg.jp/dataweb/>  
からサーチ>3.くらす(県民生活)  
を選択

表11 大都市の大学及び短期大学の概況

区 分	学 校 数			学 生 数			推計人口 〔平成23年 5月1日現在〕	人口に占 める学生 数の割合
	計	大学	短期大学	計	大学	短期大学		
札幌市	21	13	8	55 438	51 996	3 442	1 918 868	2.9
仙台市	13	10	3	50 356	49 232	1 124	1 041 891	4.8
さいたま市	6	4	2	16 726	16 097	629	1 227 238	1.4
千葉市	13	9	4	29 037	27 706	1 331	963 744	3.0
東京都区部	127	93	34	514 716	498 289	16 427	8 969 337	5.7
横浜市	18	12	6	84 710	82 828	1 882	3 692 342	2.3
川崎市	8	5	3	32 513	31 297	1 216	1 429 173	2.3
相模原市	4	2	2	26 923	25 924	999	718 420	3.7
新潟市	12	7	5	22 616	21 176	1 440	811 857	2.8
静岡市	8	4	4	16 397	14 220	2 177	715 007	2.3
浜松市	7	6	1	11 377	11 057	320	799 034	1.4
名古屋市	23	16	7	92 013	89 044	2 969	2 265 864	4.1
京都市	38	26	12	139 269	135 176	4 093	1 473 828	9.4
大阪市	19	11	8	32 172	27 918	4 254	2 669 028	1.2
堺市	10	7	3	12 352	11 478	874	842 436	1.5
神戸市	25	20	5	73 057	71 141	1 916	1 544 774	4.7
岡山市	11	8	3	29 749	28 254	1 495	709 832	4.2
広島市	18	13	5	33 852	31 632	2 220	1 176 315	2.9
北九州市	13	9	4	23 000	21 420	1 580	975 130	2.4
福岡市	21	12	9	77 725	72 877	4 848	1 473 192	5.3